

週寫
報眞

編輯部報情閣内

ンセ十・號八廿第・日四廿月八

（昭和二十八年八月廿四日） 第一四〇五號（發行） 郵令八號

時局と海運





時局と海運

逓信大臣 永井柳太郎

わが國は四面環海であるといふよりも海の中の島嶼である。従つて我が國の永い歴史を通じてこの海國といふ大興の地理的條件が國運の伸張に密着する所極めて大なるものがあつた。この好運の下に纏まれたわが國運は幾十年の間目撃せし、突進を遂げ、今や優秀なる海軍艦隊が、世界の隅々まで日章旗を飄揚するに至つた。

多年に亘り官民一致の努力に依り鋭意増進したわが海運の實力は今次事變に際會して十分に發揮すること出来、或は軍の發給に應じ國防第二陣として重要任務に服し、或は國內産業延びて饒饒國民生活に必要な物資の輸送に當るなどの非常時局に對應してよくその國家的使命の達成に遺憾なきを期しつゝあるのである。周知の如く海運關係人は所謂貿易外收入の尤たるものとして國際債借に寄與する所大なるものがあるが、最近の貿易の情勢に鑑みれば我が海運に期待せらるゝ所は益々重きを加へ來つたことを忘れてはならない。

北支、中支に於ける經濟開發の進捗に伴つて對支航線を一段と強化する必要は益々緊切なるものがあるが、目下政府當局に於て之が具體化に努めてゐる。

海運が經濟上並に國防上重要な役割を有することを想ひ、海上に將又燈塔に人知れぬ困苦を忍び難と雖も、ひたすら航路の一路を歩みつゝある人々の勞苦を察する時、我々海國日本の國民たるものは是等海運第一線戰士に對して衷心より感謝し同情せしむるにあらざらん。

「海洋を支配するものは世界を支配する」とまで謂はれてゐる。わが海運の健全なる發達の爲に國民諸君の深い理解と強い協力とを希望してやまない。

撮影 木村伊兵衛



夏の

腸疾患

治療に
豫防に

ビオフェルミン

暑熱、腐敗性食餌、暴飲暴食、生水、氷水、未熟な果物等起因して頻發する……

腸カタル、下痢
食傷、消化不良
小兒下痢、緑便
細菌性下痢等



整腸
ビオフェルミン中の乳酸菌は腸内腐敗及び異常菌叢を除き腸機能正常に復して下痢症を安全に消退せしむ。

殺菌
この乳酸菌は、同時に腸内の有害細菌を死滅せしめ、毒素の吸収を防ぎ、腸内容を清淨ならしむ。

消化
ビオフェルミン中の糖化菌は澱粉及び蛋白質を消化し栄養分の吸収を佳良ならしめ便通を調整せしむ。

**傳染性腸疾患
豫防と保健に**

ビオフェルミンの常用は投劑腸炎、赤痢、腸チフス、コレラ等の恐るべき傳染性腸疾患に對し、豫防と強腸の効果を収む。

甘美味、服用容易なる。即ちと販賣、各藥房にあり。

發賣元 株式 武田長兵衛商店
大田市東區道徳町
製造元 株式 神戸衛生實業所
神戸市林田區二番町

武田製薬

光の監視哨



海上輸送力の確保充實を期するためには、先づ直接に運航任務にあたる船員の優秀化をはからなければならぬ。そして本年三月二十四日、日本傳來の英風と時代の新しい船にそよ、從來の行きかきりを全くすたせ、第一體の海上國民精神動員聯盟が結成され、時局に關する認識の徹底、航海安全の確保、品性及び職位の向上等に積極的に乗りだしてゐる。こゝにも國防第二陣の顔母しさがあるのだ。

神戸で見かけた時局に協力する海員のスナップ

上、資糧愛護——使ひ古したロープを整理して活用する。

左上、貯蓄愛護——上陸前に天引で船内郵便局に貯金する若いマドロス

左下、精神強固——船内への運送の式、油に染み付いた手をあはせ、潮に灼けた頭をさげる敬虔な姿。

撮影 山田 光明

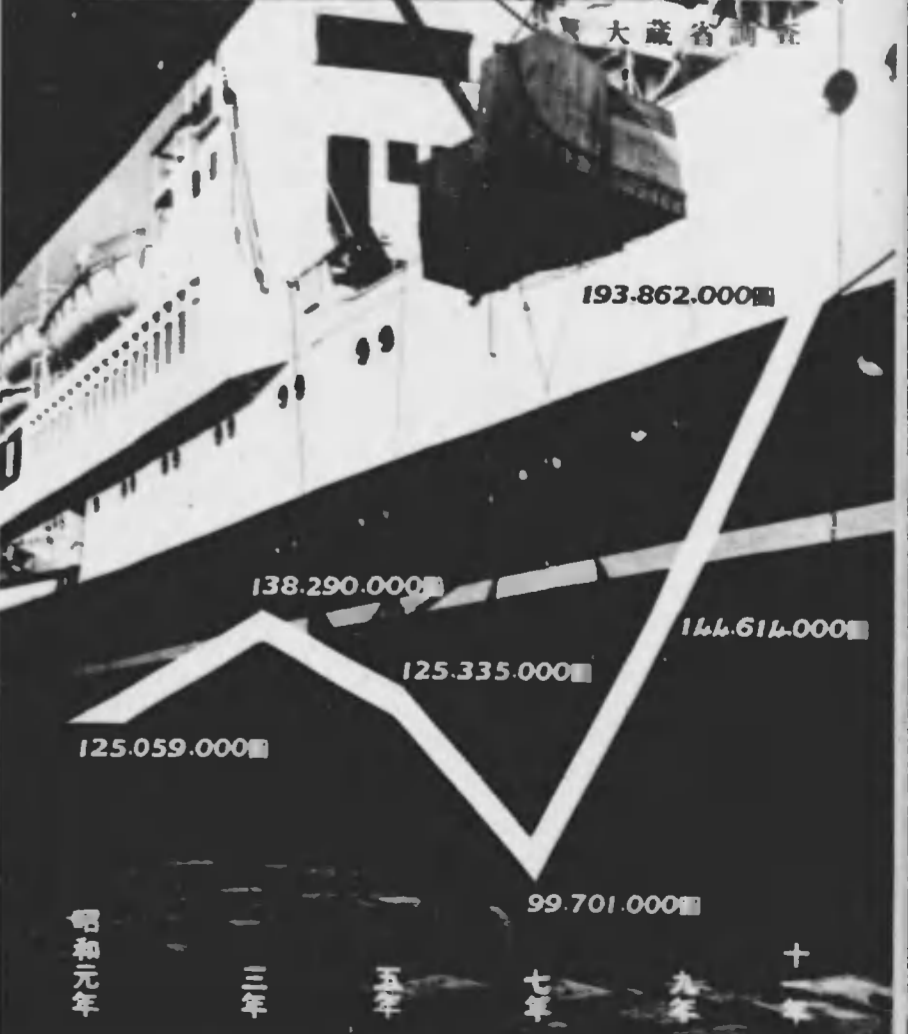


伊豆神子元島燈臺

世界海運國所有船舶噸數比較



我國海運關係純收入累年比較



燈臺の起源

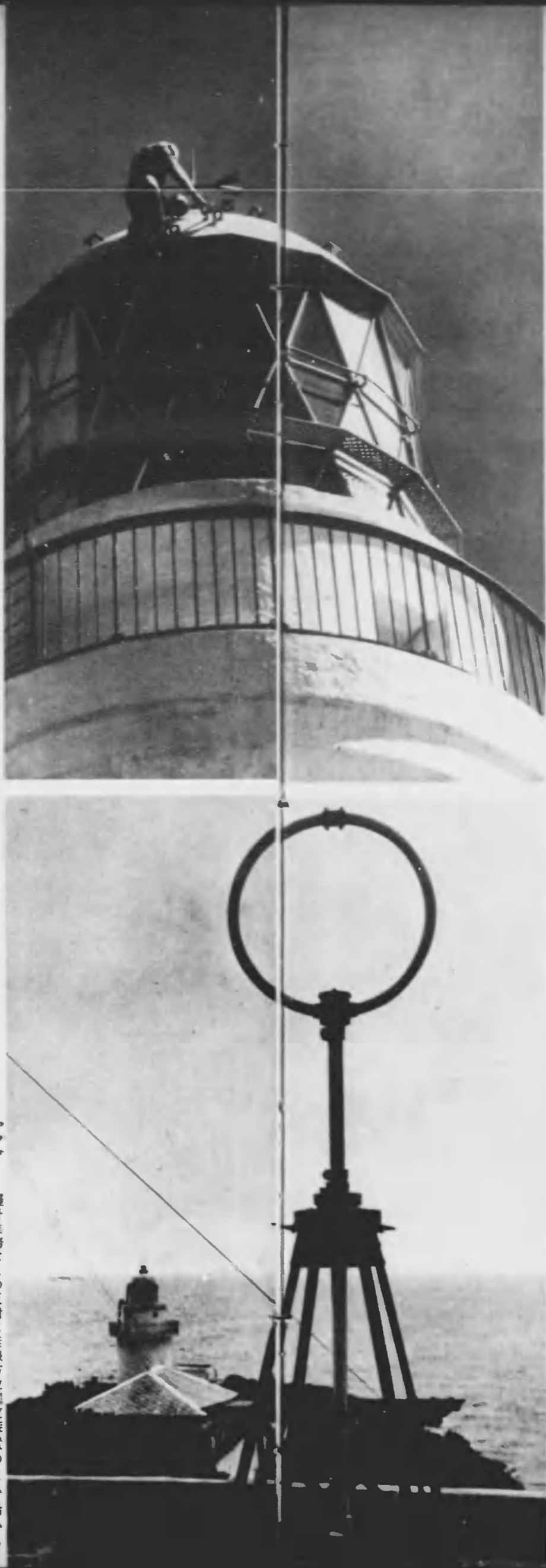
わが國に於ける燈臺の起源は天智天皇の三年に唐がわが國を襲はんとすを慮つて、筑紫及び壹岐島に防人を置いて烽火を擧げしめたのを承和六年遣唐使船歸省の目標としたのに始まりその後陸岸に水標を示すために標本を立てたといふ記事があるをみるにわが國としても昔から航路の標識を重視し、相當苦心を拂つたのである。

慶長十三年能登國能登浦に建設された燈臺は、石造の小燈塔の上に燈籠を設け、油障子を以つて蔽ひ、その中に菜種油を燃灯したのであつて、これがわが國油燈臺の嚆矢である。その後わが國の標識には顯著な變遷も認められなかつたが安政六年鎖國廢絶開港以來貿易日々に盛となり、外國船の往來がはげしくなるに従つて従来のやうな不完全なものは船舶の安全が期せられたいところから慶應二年英、佛、蘭、米との間に締結した江戸條約に基いて英國人を顧問とし、新式諸器械を輸入して燈臺八基燈臺二艘の建設に着手したが明治二年相州磯崎の燈臺がわが國最初の洋式燈臺として落成した。そして燈臺看守定許外國人を聘して之に當らせられたから、我が燈臺事業は恰も西洋文明輸入の先驅であつたのである。かく一日進歩現在わが國航路標識数は内地偏地をわけて千六百餘に上つてゐる。

撮影 加藤恭平



これは光源の光力を二十倍に擴大する一対射レンズだ。十七年前までは専ら英佛國から輸入され、その價格は五萬圓から十萬圓であるが、今日では立派な國産品で給自足出来る。燈臺技手は潮風に曇り勝ちなレンズを毎日「チヤ」に丹を磨く。——神子元島燈臺



□ 少くとも一年に一度は白磁の塔も頂上の蓋蓋も塗り替へねばならない。燈臺の蓋蓋の高さは海面から三十メートル燈臺の高さは十八メートル、もし足をふみ外せば勿論命はない、せつせとヘンキを塗る技手の頭の上を夏雲が走る。

神子元島燈臺

□ 霧笛は蒸気または石油エンジンを運轉して壓縮空氣を作り、これによつてダイヤホーンサイレン等を吹き鳴らす装置になつてゐる。濃霧や吹雪の中を航行する船に取つて、燈臺から聞えて来る霧笛の音は何よりの頼りだ。濃霧のつく限り、霧笛を鳴らしつづける技手の勞苦はなみ大抵ではない。

大島燈臺

□ 航行中の船舶にその正確な位置を知らせてやる無線方位信標は無線探査業務と無線針業務の二つに分れる。無線探査業務といふのは一時間に二回づつ一定時に二分間おのづから無線探査機を發信する。無線方位信標は無線探査機と無線方位測定装置のある船ではこれを聞いてその無線探査機と船との方向角を知り、更に他の一つの無線探査機と船との方向角を知り、更に他の一つの無線探査機と船との位置を知る。二つの方向角の交叉する所を以て船の位置とする。

無線針業務はこの反対に無線方位測定装置のない船から一船の方位測定したものを無線探査機に發信して、無線探査機と無線方位測定装置のある船との方向角を測定しこれを船に通報してやる。船では他の一つの無線探査機と同様方位測定装置を發信してその無線探査機と船との方向角を通報して、二つの方向角の交叉する所を以て船の位置とする。右、方位測定用のルーブアンテナ。左、方位測定に應ずる技手。

石室燈臺





太平洋の怒濤が真向からぶつかつては砕け散る巖頭に、屹然とそびえてゆるがぬ白壁の燈臺。光の監視塔は事變下の海をきつと睨みつける。

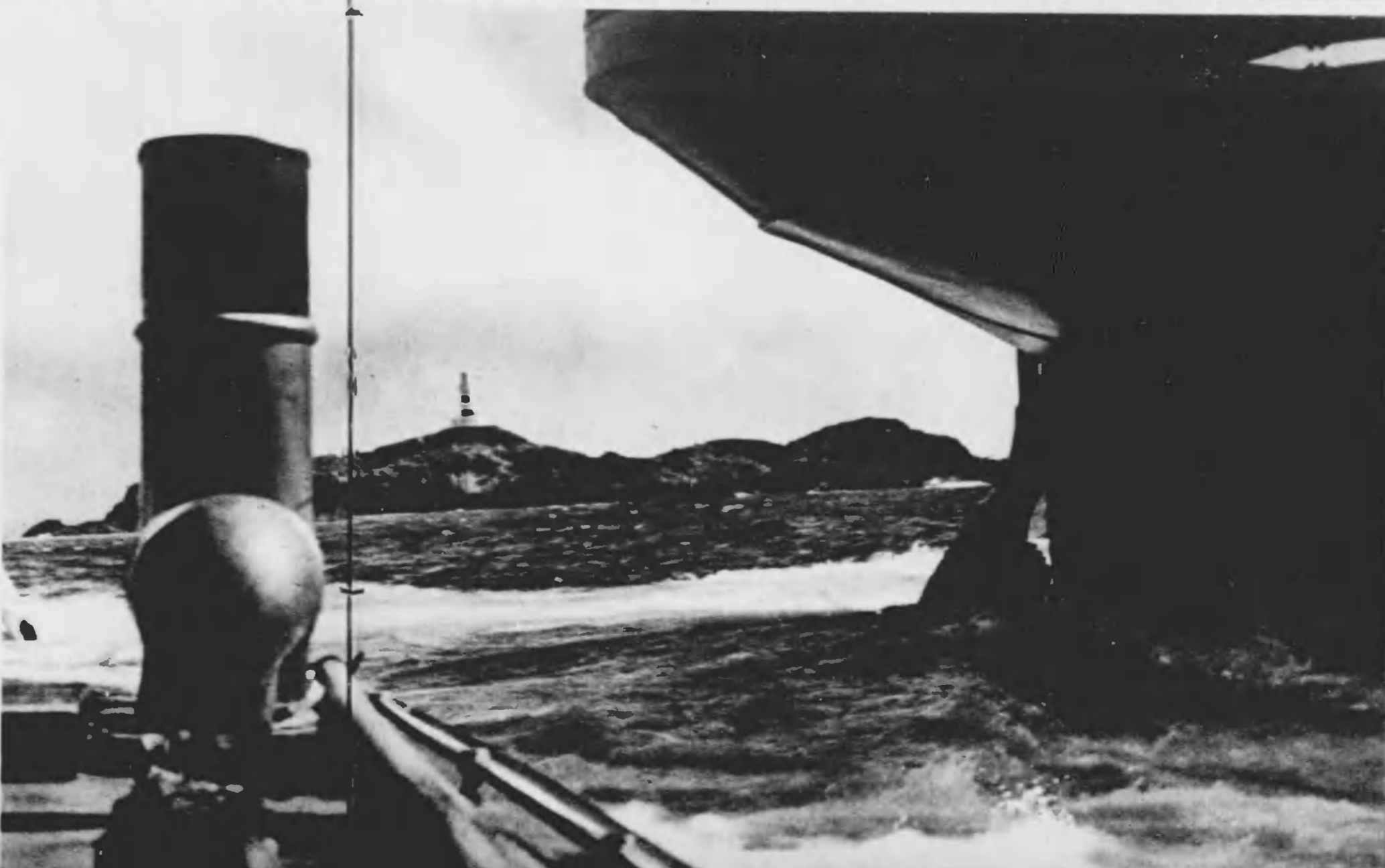
銚子一ノ島燈臺

撮影
逓信博物館



⊕ 打ち眺めた所何處か荒涼たる國境の
兵舎といつた感じのする椰子元島燈臺
の官舎、草一本満足に生えておない赤
黒い標岩の島に、奮闘する二つの生命
を守る。
暴風の目には、吹きとはされぬや
らに、中央に見えるローフに縋つて點
燈に行く。

⊖ 「さようなら」「さようなら」
折角一年振りに訪ねて来た人々を眞白
いランチはあつけなく運び去つて行つた
羅州丸はボートと一つ汽笛を吹き鳴らす
と次第に沖へ去つて行く。淋しがつちや
いかん、と心にはいひきかせても、眼頭
が熱くなつてくるのをどうしやうもない



⊕ 燈臺視察船羅州丸は椰子元島の
沖についた。暗礁が多いために直
接島に横付けすることは出来ない。
ランチが降ろされる。
小手をかざして見れば、白雲
の燈台は旭日をうけて碧空に輝く

上左
燈臺の人々は、視察長
はじめ羅州丸乗組の人々
ちともう古い馴染だ。
一年振りに迎へ迎へられ
たなつかしさに積る話は
盡きさらにもない。

⊖ あれを話したくのだつた。これも傳
へておけばよかつた。しかしもう遅い
お別れだ。ボンボンとランチは軽快に
波を蹴つて歸つて来たが、妙に後髪を
引かれる思ひがする。速い潮流に流され
れまいとして羅州丸のスクリーンは眞
白い渦をよけに捲きかへしてゐる。

戦地から手紙が届いた。〇〇煙臺から〇〇親友の〇〇上等兵からだ。

「暑いことはべらぼうに暑い日頃潮風でやけたからだ。黒くやつたよ。今日も文字通り約けつくやうな炎熱の中を敗走の敵を追って十三四里の強行軍をやつた。皆よく頑張つて歩いた。飲む水がなくれば汗は出ないものだが、たゞ有難いことに大隊では夕方になると特別に涼しくなる。越つたと思ひだ。〇〇に近この山麓から眺めると、大揚子江が夕陽を浴びて黒かに輝いてゐるのが見える。山の向ふからは時々思ひ出したやうに敵の銃聲が聞えて来る。今夜はここで夜営。明日はいよいよ〇〇攻撃だ。

君の御一家は皆速者かい。時局下の海を守る煙臺人の責務は大きい。君の折角の御奮闘を祈る。僕は元氣だ。」

なつかしい友の便りをよみければ、妻も子供も見知らぬ戦地を想ふ。――石室崎煙臺

石室崎煙臺無線方位信標所の全景

温泉の國、伊豆の最南端に立つて、これは海運日本の表を夜を守りつづける科學の保衛だ。



煙臺に鳥がぶつかつて死ぬといふ話は有名だ。奇森縣の尻矢崎煙臺などでは一夜に數萬羽の鳥が煙火を惹つて集り、煙臺のガラスに衝突して死んだ鳥の数が二千五百といふ記録がある。又ひどい暴風の夜などには吹きつけられた鳥が厚さ一センチもあるガラス板をつき破つて煙臺にとび込むこともある。きれいに拭き替へられた煙臺のガラス板を通して沖を望めば白い大きい船が行く。――朝子元崎煙臺

煙臺に食糧品を送り届けて町の船が埠をはなれると、あたふたと人影が崖の上にはなれる。いきなり手旗信標をはじめた「コノツギスイカタノム」船からは承知の合圖に大きく手旗をふる。――石室崎煙臺

海 彼の方



カナダに奮戦する
山岸テ杯選手

デヴィス・カップ・アメリカン・ソ
ン決勝、日本対カナダ戦は八月十二
日からカナダのモントリオールのマ
ウント・ローヤルの庭球クラブで舉
行、接戦の結果日本は惜しくも三對
二で敗れた。寫眞はその前ニューヨ
ークで練習中なのが山岸テ杯選手。

◁ アメリカについた英獨
の大西洋横断機

大西洋定期航空路開設調査の英獨
兩航空機が期せずして米國ワシント
ン・ポートで翼を並べた。手前はド
イツ・ルフトハンザ會社のノルドメ
ア號、後のはイギリスの例の親子飛
行機の子供の方のマイキユリ號



◁ スデーテンドイ ツ人も身心鍛錬 に夢中

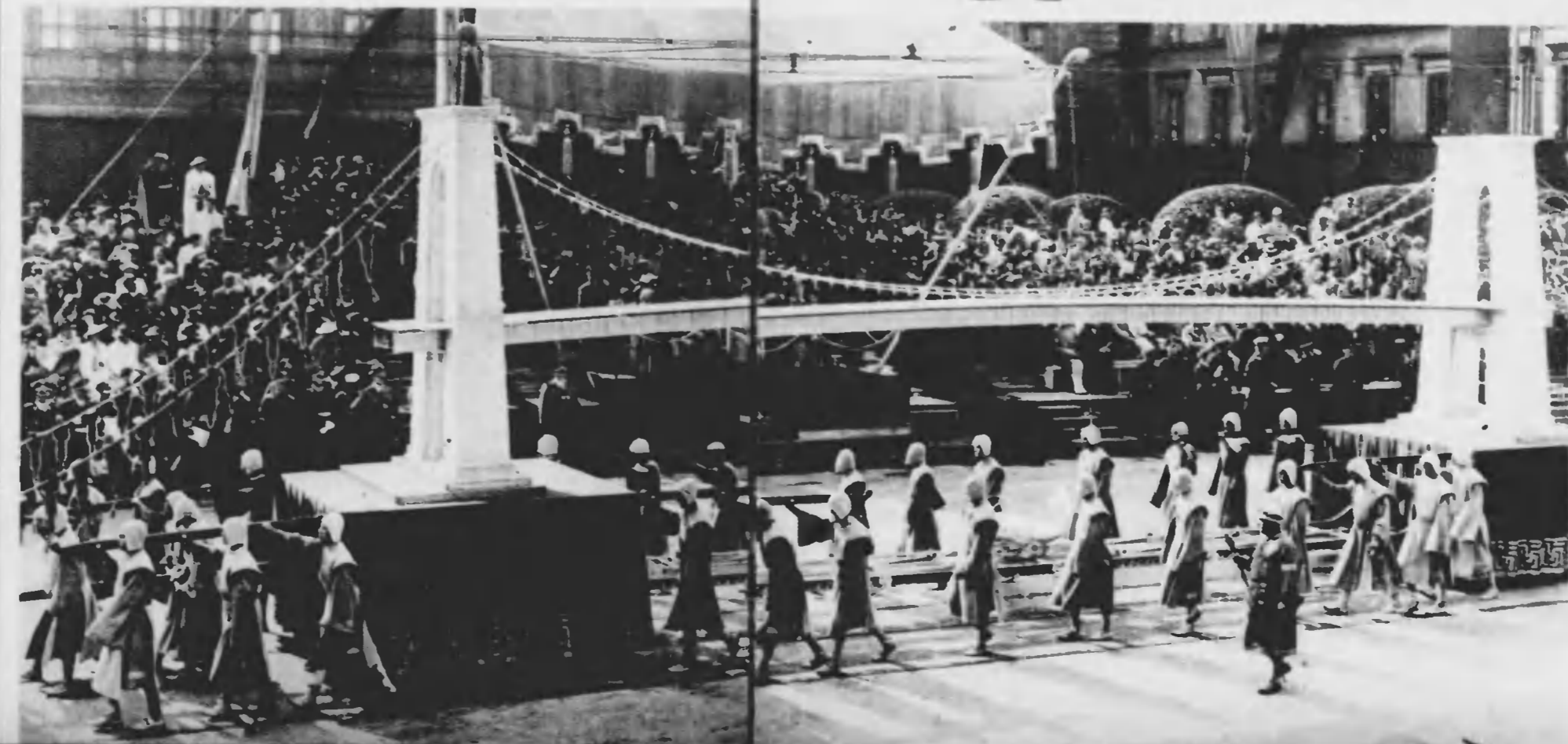
全ドイツ・スポーツ祭に参
加すべく、スデーテンドイ
ツの青年たちは各地の訓練場
に合宿、練習に餘念がない。
右はテフワツツ・シヨーナ
ウの勤務奉仕隊。
上はプレスラウの競技場で
柱體操の練習

◁ ミュンヘンのドイ ツ文化祭

光輝あるドイツ文化發祥二
千年を記念する文化祭がこの
ほどミュンヘン市で盛大に催
された。これは科學ドイツの
粹をあつめてエルベ河に建設
されることになつた大吊橋の
模型である。

◁ チヤコ紛争圓滿解決

過去一世紀、南米の雄と目
されてゐた、ボリヴァ、パ
ラグアイ國境のグランチャコ
紛争は米洲六中立國の調停で
七月廿日アルゼンチン首府ブ
エノスアイレスで圓滿解決し
た。寫眞は左からデ・メデー
ナ・ボリヴァ外相、カンタイ
ヨ・アルゼンチン外相、パエ
ス・パラグアイ外相



支那事變國債 郵便局賣出し



大藏省



八月廿二日ヨリ九月二日マデ

十円券より千円券までの六種類
此の國債郵便局にて何時も買上りませう

憲報 昭和十三年三月十二日 第三種郵便物認可 昭和十三年八月廿四日發行 (隔週一回水曜日發行) 第廿八次

(本書の大きさは規定規格A4・一週報・倍利)